

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

教科	理科	学年	3	
単元名		時数	単元のまとまりの評価規準	
生き物をさがそう		4	知・技	生物には、いろいろな色や形、大きさがあることを理解している。
				生物には、その姿に差異点と共通点があることを理解している。
				屋外で植物や動物を安全に観察している。
			思・判・表	虫眼鏡を正しく安全に使っている。
				色、形、大きさなどに着目して観察した結果を、記録カードなどに的確に記録している。
				校庭の植物や動物のようすを観察して、気づいたことを発表している。
たねをまこう		4	知・技	身の回りのいろいろな生物の色、形、大きさなどについて、差異点や共通点を言葉でわかりやすくまとめて
				校庭の生物のようすに関心をもって、積極的に観察しようとしている。
				生物に関心をもって、大切にしようとしている。
			思・判・表	適切なたねのまき方を理解している。
				植物の種子や子葉には、色や形、大きさに違いがあることを理解している。
				育てている植物への水やりなど、適切に植物の世話をしている。
チョウを育てよう		9	知・技	植物の子葉や葉の色、形、大きさ、数などに着目して観察した結果を、記録カードなどに的確に記録してい
				様々な植物の種子のようすを観察して、気づいたことを発表している。
				育てている植物の成長のようすについて調べ、前に観察したときと比べて違っていることを見だし、図や言葉でわかりやすくまとめている。
			思・判・表	育てている植物の成長のようすに関心をもって、積極的に観察しようとしている。
				植物に関心をもって、大切にしようとしている。
				植物に
植物の育ちとつくり		3	知・技	チョウの体のつくりについて理解している。
				チョウの体のつくりについて観察した結果を、記録カードなどに的確に記入している。
				チョウの成長の仕方を理解している。
			思・判・表	チョウの成長のようすを正確に記録している。
				育てているチョウの成長のようすについて調べ、前に観察したときと比べて違っていることを見だし、図や言葉でわかりやすくまとめている。
				チョウの育ち方について関心をもち、積極的に飼育、観察をしようとしている。
植物の育ちとつくり		3	知・技	チョウに関心をもって、大切にしようとしている。
				植物は、葉の形、草丈などに違いがあることを理解している。
				植物の体は葉・茎・根からできていて、根は地中にあり、葉は茎についていることを理解している。
			思・判・表	育てている植物への水やりなど、適切に植物の世話をしている。
				植物の成長のようすをわかりやすく記録している。
				色、形、大きさ、数などに着目して観察した結果を、記録カードなどに的確に記入している。
植物の育ちとつくり		3	知・技	植物の体のつくりの差異点と共通点に気づき、それを適切に表現している。
				育てている植物の成長のようすについて調べ、前に観察したときと比べて違っていることを見だし、図や言葉でわかりやすくまとめている。
				育てている植物の成長のようすに関心をもって、積極的に観察しようとしている。
			思・判・表	植物に関心をもって、大切にしようとしている。

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

風とゴムの力のはたらき	9	知・技	風とゴムの力は、物を動かすことができることを理解している。
			物の動く距離を調べて、その結果を適切に記録している。
			風とゴムの力のはたらきで動く車を正しく扱い、安全に実験を行っている。
			風の力を強くしたり、ゴムを長く伸ばしたりすると、物を動かす力が大きくなることを理解している。
		思・判・表	風とゴムの力のはたらきの大きさと物が動くようすとの関係について、問題を見つけている。
			立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。
			友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。
			ゴムの伸ばし方と物が動くようすを関係づけて考え、それを言葉でわかりやすく表現している。
		学び	風とゴムの力のはたらきの大きさを変える実験結果から、風とゴムの力のはたらきの大きさを変えると物が動くようすも変わることを導き出している。
			風とゴムの力のはたらきの大きさと物が動くようすとの関係について問題を見つけ、自分なりの予想を立てて実験している。
			風とゴムの力のはたらきの学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。
花のかんさつ	1	知・技	植物の草丈や花の色、葉の形などは、植物によって違っていることを理解している。
			植物の草丈や葉の数、花の色などを正確に記録している。
			育てている植物への水やりなど、適切に植物の世話をしている。
			植物の成長のようすをわかりやすく記録カードに記入している。
		思・判・表	植物を観察し、その姿や花を比較し、その違いについて表現している。
			植物の成長のようすや花を観察して、気づいたことを発表している。
			育てている植物の成長のようすについて調べ、前に観察したときと比べて違っていることを見だし、図や言葉でわかりやすくまとめている。
		学び	育てている植物の成長のようすに関心をもって、積極的に観察しようとしている。
			草丈の高いヒマワリなどは、棒を使うなどくふうして高さをはかろうとしている。
			植物に関心をもって、大切にしようとしている。
こん虫のかんさつ	5	知・技	昆虫は、食べ物があつたり隠れることができたりする場所にいることが多いことを理解している。
			昆虫のいる場所と活動のようすについて観察した結果を、記録カードなどに的確に記入している。
			昆虫の体のつくりについて理解している。
			チョウとバッタやトンボの育ち方の差異点と共通点を理解している。
			昆虫は、周りの環境と関わり合って生きていることを理解している。
		思・判・表	昆虫のいる場所と活動のようすとの関係について考察し、わかりやすく説明している。
			食べ物や活動のようすなどから、見つけた昆虫がなぜそこにいたかを考え、まとめている。
			チョウとバッタやトンボの育ち方を比べ、その差異点と共通点を言葉でわかりやすくまとめている。
		学び	昆虫のいる場所と活動のようすとの関係について関心をもち、積極的に観察しようとしている。
			昆虫に関心をもって、大切にしようとしている。
		知・技	植物は花が咲いた後に実ができ、枯れていくことを理解している。
			花が咲いた後の植物の変化や実のようすを正確に記録している。
			育てている植物への水やりなど、適切に植物の世話をしている。

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

植物の一生	4		植物の成長のようすを、わかりやすく記録カードに記入している。
			4月から記録してきたカードを、植物の育ち方にそって整理している。
		思・判・表	複数の植物を観察し、実や枯れた姿を比較し、差異点や共通点について表現している。 植物のようすや実を観察して、気づいたことを発表している。 育てている植物の秋頃のようすを調べ、前に観察したときと比べて違っていることを図や言葉でわかりやすくまとめている。
		学び	花が咲いた後の植物のようすに関心をもって、積極的に観察しようとしている。 植物に関心をもって、大切にしようとしている。
かげと太陽	9	知・技	人や物が日光を遮るとかげができることと、かげは太陽の反対側にできることを理解している。 太陽は、東の方からのぼって南の空を通過して西の方へ沈むことを理解している。 かげの位置は太陽の位置の変化に伴って変わることを理解している。 方位磁針を使って太陽の位置を調べ、正確に記録している。 温度計などを使って、日なたと日陰の地面の温度を正確に測っている。 日光で地面があたためられ、日なたの地面の温度が日陰の地面に比べて高くなることを理解している。
			かげつなぎやかげ踏みをして気づいたことから、問題を見つけている。 日なたと日陰の地面の温度の違いと日光との関係について、日光の当たったプールサイドが熱かった経験などから予想を立てている。
			友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。 予想を確かめるための観察を計画している。 太陽の位置とかげの位置との関係、日光と地面のあたたかさとの関係について考察し、それを言葉でわかりやすく表現している。
		学び	観察の結果から、かげの位置が変わるのは太陽の位置が変わるからであると考え、自分の言葉で表現し かげの位置の変化と太陽の位置の変化との関係を調べる観察計画について、友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。
			日なたと日陰の地面の温度の違いと日光との関係について問題を見つけ、自分なりの予想を立てて観察している。
			太陽と地面のようすの学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。
光のせいしつ	8	知・技	日光はまっすぐに進み、日光が当たったところは、明るくあたたかくなることを理解している。 日光は集めたり、鏡で反射させたりできることを理解している。 日光を集めたときのあたたかさを調べ、正確に記録している。 鏡や虫眼鏡を適切に扱い、安全に実験を行っている。 鏡で反射した日光を集めたり、虫眼鏡で日光を集めたりしたとき、より明るく、よりあたたかくなることを理解している。
			日光と明るさやあたたかさとの関係について考察し、その関係を自分の言葉で表現している。
			日光の進み方について問題をつくり、的当て遊びをしたときや木漏れ日を見た経験などから予想を立てて
		思・判・表	日光と明るさやあたたかさとの関係を表に整理し、鏡の枚数と明るさやあたたかさの変化との関係を考え 立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

			友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。 予想を確かめるための実験を計画している。 鏡の枚数を変える実験結果から、日光を集めるとより明るく、よりあたたかくなることを導き出している。
		学び	日光の進み方を調べる実験計画について、友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。 日光と明るさやあたたかさとの関係について問題を見つけ、自分なりの予想を立てて実験している。 光の性質の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。
電気で明かりをつけよう	7	知・技	回路についてわかり、金属が電気を通すことを理解している。 豆電球と乾電池、導線を正しくつないでいる。 乾電池や豆電球、ソケットなどを正しく扱い、安全に実験を行っている。 豆電球に明かりのつく回路を調べ、その回路を図でわかりやすく記録している。
			身の回りで使われている電気について、問題を見つけている。 電気を通す物と通さない物について、これまでに学習したことや生活経験などから予想を立てている。 立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。
		思・判・表	友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。 豆電球に明かりがつくかどうかということと回路を関係づけて考え、それを言葉でわかりやすく表現している。 電気を通す物の共通点や電気を通す物と通さない物の差異点に気づき、電気を通す物についてまとめて
			どのような物が電気を通すのかということに関心をもって調べ、見いだしたことを生活に生かそうとしてい 電気を通す物と通さない物を調べる実験で、積極的に調べたり、結果を粘り強く分類・整理している。
			電気の通り道の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。
じしゃくのふしぎ	8	知・技	磁石は鉄を引きつけることと、磁石にはN極とS極があることを理解している。 磁石と鉄との間に磁石に引きつけられない紙などをはさんでも、磁石は鉄を引きつけることを理解してい 磁石の異極どうしは引き合い、同極どうしは退け合うことを理解している。 実験の結果をわかりやすく記録している。 磁石の極性を調べ、その結果を正確に記録している。 棒磁石や方位磁針を正しく扱い、安全に実験を行っている。
			磁石に引きつけられる物の共通点や引きつけられない物との差異点について考察し、問題を解決してい 磁石に引きつけられる物と引きつけられない物について、磁石を使ったときの経験などから予想を立てて 立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。
		思・判・表	友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。 磁石が鉄を引きつける力の変化を、磁石と鉄との距離に着目して考えている。 磁石の極どうしを近づける実験で、同極どうしか異極どうしかを関係づけて考え、それを言葉でわかりやすく表現している。
			磁石に引きつけられる物と引きつけられない物について問題を見つけ、自分なりの予想を立てて実験して 磁石の性質の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。
			物が震えることで音が伝わることを理解している。

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

音のせいしつ	6	知・技	音が大きいときは物の震え方が大きく、音が小さいときは物の震え方が小さいことを理解している。
			物の震え方の変化を調べて正確に記録している。
			楽器や身の回りの物を正しく扱い、音を出す実験を安全に行っている。
		思・判・表	楽器や身の回りの物で音を出して、問題を見つけている。
			音の大きさと物が震えるようすとの関係について、音楽の授業で太鼓を使ったときの経験などから予想を立てている。
			音の大きさと物が震えるようすとの関係を表に整理して、わかりやすく説明している。
			友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。
		学び	音の大きさを変える実験結果から、音の大きさを変えると物の震え方も変わることを導き出している。
			音の大きさと物が震えるようすとの関係を調べる実験計画について、友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。
	7	知・技	音が大きいときは物の震え方が大きく、音が小さいときは物の震え方が小さいことを理解している。
			物の震え方の変化を調べて正確に記録している。
			楽器や身の回りの物を正しく扱い、音を出す実験を安全に行っている。
楽器や身の回りの物で音を出して、問題を見つけている。			
思・判・表	音の大きさと物が震えるようすとの関係について、音楽の授業で太鼓を使ったときの経験などから予想を立てている。		
	音の大きさと物が震えるようすとの関係を表に整理して、わかりやすく説明している。		
	友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。		
学び	音の大きさを変える実験結果から、音の大きさを変えると物の震え方も変わることを導き出している。		
	音の大きさと物が震えるようすとの関係を調べる実験計画について、友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。		
	音の大きさと物が震えるようすとの関係について問題を見つけ、自分なりの予想を立てて実験している。		

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

教科	理科	学年	4	
単元名		時数	単元のまとまりの評価規準	
春の生き物		9	知・技	春になって、植物が発芽したり花を咲かせたり、動物が活動し始めたりすることを理解している。
				気温と水温の測り方を理解している。
				屋外で動物や植物を安全に観察している。
				虫眼鏡や双眼鏡など、観察するための道具を安全に取り扱っている。
				記録カードのかき方を理解し、観察した生物のようすを正確に記録している。
			思・判・表	春の生物のようすと季節を関連づけて考え、言葉でわかりやすく表現している。
				春の生物のようすについて、観察した結果をもとに発表し合い、季節と生物のようすの関係について多面的に考察している。
				春の生物のようすに関心をもって、積極的に観察しようとしている。
				季節と生物のようすの関係を調べる観察計画について、友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直し生物に関心をもって、大切にしようとしている。
天気と1日の気温		6	知・技	春の生物のようすの学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。
				天気によって、1日の気温の変化の仕方に違いがあることを理解している。
				晴れの日と、曇りや雨の日の1日の気温の変化の特徴を理解している。
				直射日光を避けた温度計や百葉箱などを利用して、気温を正しく測っている。
			思・判・表	晴れの日と、曇りや雨の日の1日の気温の変化を、表や折れ線グラフに記録している。
				1日の気温の変化と天気とを関係づけて考え、わかりやすく表や折れ線グラフなどに表している。
				立てた予想を発表している。
				友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。
地面を流れる水のゆくえ		6	思・判・表	1日の気温の変化について、観察した結果をもとに、天気と1日の気温の変化との関係について多面的に考察している。
				考察から、晴れの日と雨の日は1日の気温の変化が大きく、曇りや雨の日は1日の気温の変化が小さいことを導き出している。
				天気と気温の関係について、自分なりに根拠のある予想を立てて観察している。
				天気と気温の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。
			知・技	水は高い所から低い所へと流れて集まることを理解している。
				水の染み込み方は、土の粒の大きさによって違いがあることを理解している。
				土の粒の大きさと水の染み込み方を調べる実験を適切に行い、その結果を記録している。
				水の染み込み方と土の粒の大きさの違いを関係づけてとらえ、その関係を言葉でわかりやすく表現している。
				地面を流れる水の流れ方について、これまでの学習や経験から、根拠のある予想や仮説を立てている。
				立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。
				友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。
				水たまりのできている地面とできていない地面のようすから、水の染み込み方について、問題を見つけて

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二小学校

		学び	土の粒の大きさと水の染み込み方を調べる実験を行うとき、根拠のある予想・仮説を立て、実験結果から自分の考えをまとめている。 地面を流れる水のゆくえの学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。		
電気のはたらき	8	知・技	回路を流れる電気の流れを電流ということを理解している。 2つの乾電池のつなぎ方には、直列つなぎと並列つなぎがあることを理解している。 簡易検流計の使い方を理解している。 2つの乾電池を正しくつないで、電流の実験を安全に行っている。 乾電池の向きを変えると電流の向きが変わり、モーターの回転が逆になることを理解している。 乾電池の数やつなぎ方を変えると電流の大きさが変わり、モーターの回転の速さや豆電球の明るさが変わることを理解している。		
			思・判・表	乾電池のつなぎ方と電流の大きさとの関係について、乾電池の数やつなぎ方によってモーターの回転の速さが変わったことから、根拠のある予想や仮説を立てている。 立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。 友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。 予想を確かめるための実験を計画している。 乾電池をつなぐ向きを変える実験結果から、乾電池をつなぐ向きを変えると電流の向きも変わることを導き出している。 回路に流れる電流の大きさとモーターの回る速さや豆電球の明るさとの関係づけて考え、それを図や言葉でわかりやすく表現している。 乾電池、スイッチ、豆電球、モーターの電気用図記号を知り、その記号を使って回路図に表している。	
				学び	乾電池をつなぐ向きと電流の向きとの関係について問題をつかみ、根拠のある予想・仮説を立てて実験し、結果から自分の考えをまとめている。 乾電池の数やつなぎ方と、モーターの回る速さとの関係を調べる実験計画について、友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。 電流のはたらきの学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。
		知・技			夏になって、動物の活動が盛んになったり、植物が大きく成長したりすることを理解している。 夏の生物のようすを安全に観察し、記録カードに正確に記録している。 夏の動物や植物のようすを図や言葉などでわかりやすく表現している。 夏の生物のようすについて観察した結果をもとに発表し合い、季節と生物のようすの関係について多面的に考察している。
					思・判・表
			学び	夏の生物のようすに関心をもって、積極的に観察しようとしている。 夏の生物のようすの学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。 生物に関心をもって、大切にしようとしている。	
		知・技		夏に見られる星や星座がわかり、星によって明るさや色に違いがあることを理解している。 星座早見を正しく使って、星を探している。	

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

夏の夜空	2		野外で星を観察する際に注意すべきことを理解している。
		思・判・表	星の明るさや色について調べたことを、言葉や図などを使ってわかりやすく表現している。
		学び	夏に見られる星や星座に興味をもち、進んで観察したり調べたりしている。
月や星の動き	7	知・技	月は、日によって見える形が変わることや、1日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解している。
			星は、1日のうちでも時刻によって位置が変わるが、並び方は変わらないということを理解している。
			方位磁針を使った月の方位の調べ方や、こぶしを使った月の高さの調べ方が正しくできている。
		思・判・表	時刻を変えたときも同じ場所で月や星の動きを適切に観察し、正確に記録している。
			時間の経過と月や星の見える位置を関係づけてとらえ、図や言葉でわかりやすく表現している。
			月や星の位置の変化を調べる観察について、3年生で太陽の位置を調べた経験などから、根拠のある予想や仮説を立てている。
とじこめた空気や水	7	知・技	立てた予想を発表している。
			友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。
			時間の経過に伴う星の位置や並び方を調べる観察結果から、時刻によって星の位置は変化するが、星の並び方は変化しないことを導き出している。
		学び	日によって形を変える月が、太陽と同じような動き方をしているのかという問題を見つけている。
			時間の経過に伴う星の位置や並び方を調べた観察結果から、自分の考えをまとめている。
			月と星の位置の変化の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。
とじこめた空気や水	7	知・技	閉じ込めた空気をおすと空気の体積は小さくなることと、体積が小さくなれば手応えが大きくなることを理解している。
			閉じ込めた水はおし縮められないことを理解している。
			閉じ込めた空気や水をおし縮める実験を安全に行い、その結果を正確に記録している。
		思・判・表	閉じ込めた空気をおしたときの体積の変化と手応えから、問題を見つけている。
			閉じ込めた空気をおす実験について、空気鉄砲で玉を飛ばした活動から、根拠のある予想や仮説を立て友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。
			予想を確かめるための実験を計画している。
とじこめた空気や水	7	知・技	閉じ込めた空気をおしたときの注射器の中の空気の様子を考え、図に表している。
			閉じ込めた空気に加える力の大きさと手応えの大きさを関係づけてとらえ、言葉でわかりやすく表現して閉じ込めた空気や水をおし縮める実験結果から、空気はおし縮められるが、水はおし縮められないことを導き出している。
			閉じ込めた空気や水をおし縮める実験結果から、空気はおし縮められるが、水はおし縮められないことを導き出している。
		学び	閉じ込めた空気や水をおし縮める実験計画について、友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。
			閉じ込めた水に力を加えたときの様子を調べるとき、根拠のある予想・仮説を立てて実験し、結果から自分の考えをまとめている。
			空気と水の性質の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。
		知・技	ヒトの体の骨や筋肉のつくりと体の動き方との関係を理解している。
			本やコンピュータなどを適切に利用して、体のつくりや動きを調べている。
			骨と骨のつなぎ目で体が曲がることと、その部分を関節ということを理解している。

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

ヒトの体のつくりと運動	7	思・判・表	ヒトの体には、たくさんの骨と筋肉があることを理解している。
			骨や筋肉のつくりを調べ、ノートに正確に記録している。
			体のつくりと動きとを関係づけて考え、その関係を図や言葉などでわかりやすく表現している。
			立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。
			友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。
			予想を確かめるための観察を計画している。
			体のつくりについて観察した結果をもとに発表し合い、骨や筋肉のつくりと体の動き方との関係について多面的に考察している。
		学び	考察から、ヒトが体を動かすことができるのは、骨や筋肉のはたらきによることを導き出している。
			骨と筋肉のつくりに関心をもって、積極的に調べたり観察したりしようとしている。
			骨や筋肉のつくりと体の動き方との関係について問題を見つけ、根拠のある予想・仮説を立てて観察し、観察した結果から自分の考えをまとめている。
秋の生き物	4	知・技	ヒトの体のつくりと運動の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。
		思・判・表	秋になって、動物の活動が鈍くなったり、植物が枯れたり葉の色が変わったりすることを理解している。
			秋の生物のようすを安全に観察し、記録カードに正確に記録している。
		学び	秋の動物や植物のようすを図や言葉などでわかりやすく表現している。
			秋の生物のようすについて、観察した結果をもとに発表し合い、季節と生物のようすの関係について多面的に考察している。
			秋の生物のようすに関心をもって、積極的に観察しようとしている。
ものの温度と体積	9	知・技	秋の生物のようすの学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。
			生物に関心をもって、大切にしようとしている。
			空気、水、金属は、あたためると体積が大きくなり、冷やすと体積が小さくなることを理解している。
			温度変化による体積の変化が大きいのは、空気、水、金属の順であることを理解している。
		思・判・表	金属球膨張試験器などの実験器具を適切に扱い、安全に実験している。
			実験の結果を、図や言葉で正確に記録している。
			物の温度と体積を関係づけて考え、その関係を図や言葉などでわかりやすく表現している。
			立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。
			友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。
			予想を確かめるための実験を計画している。
		学び	空気、水、金属をあたためたり冷やしたりした結果をもとに発表し合い、物の温度と体積との関係について多面的に考察している。
			考察から、空気、水、金属は、あたためたり冷やしたりすると体積が変化することを導き出している。
			物の温度と体積との関係に関心をもって、積極的に実験しようとしている。
			物の温度と体積との関係について、根拠のある予想・仮説を立てて実験し、結果から自分の考えをまとめ物の温度と体積の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

冬の夜空	2	知・技	冬の星も夏の星と同じように、明るさや色は星によって違っていることを理解している。 冬の星も秋の星と同じように、1日のうちでも時刻によって位置が変わるが、並び方は変わらないということを理解している。 時刻を変えたときも同じ場所で建物などを目印にして観察するなど、冬の星の動きを適切に観察し、正確に記録している。
		思・判・表	星座の位置の変化を調べる観察について、秋の星座で調べた経験などから、根拠のある予想や仮説を立てている。 冬の星の観察結果から、時刻によって星の位置は変化するが、星の並び方は変化しないことを図や言葉でわかりやすく表現している。
		学び	冬の星の位置や並び方を調べるとき、根拠のある予想・仮説を立てて観察し、結果から自分の考えをまとめている。 冬の星の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。
冬の生き物	3	知・技	秋と冬の生物のようすの違いや、冬越しの仕方について理解している。 冬になって、動物の姿があまり見られなくなったり、植物が枯れたりすることを理解している。 冬の生物のようすを安全に観察し、記録カードに正確に記入している。
		思・判・表	冬の動物や植物のようすを図や言葉などでわかりやすく表現している。 冬の生物のようすについて、観察した結果をもとに発表し合い、季節と生物のようすの関係について多面的に考察している。
		学び	冬の生物のようすに関心をもって、積極的に観察しようとしている。 冬の生物のようすの学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。 生物に関心をもって、大切にしようとしている。
もののあたたまり方	8	知・技	金属は熱せられた所から順に遠くの方へあたたまっていくことを理解している。 水と空気は、熱せられた所がまずあたたまり、温度が高くなった所が上の方に動いていくことで全体があたたまることが理解している。 実験用ガスこんろや示温シールなどの実験器具を適切に扱い、安全に実験している。 実験の結果を、図や言葉で正確に記録している。
		思・判・表	線香の煙の動きと空気の動きを関係づけて考え、空気のあたたまり方について図や言葉などでわかりやすく表現している。 立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。 友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。 予想を確かめるための実験を計画している。
		学び	金属、水、空気をあたためた結果をもとに発表し合い、金属、水、空気のあたたまり方を比較しながら考察している。 物のあたたまり方に関心をもって、積極的に実験しようとしている。 物のあたたまり方について、根拠のある予想・仮説を立てて実験し、実験した結果から自分の考えをまとめている。

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

			物のあたためり方の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。
水のすがた	8	知・技	水は温度によってその姿を、固体(氷)、液体(水)、気体(水蒸気)に変えることを理解している。
			水蒸気は目に見えないことと、目に見える湯気は小さな水の粒であることを理解している。
			水は、氷になると体積が増えることを理解している。
			実験用ガスこんろなどの実験器具を適切に扱い、安全に実験している。
			水の温度の変化を、折れ線グラフなどにわかりやすく表している。
			水を熱したり冷やしたりする実験を適切に行い、その結果を正確に記録している。
		しお・	水の姿の変化を温度の変化と関係づけて考え、その関係を図や言葉などでわかりやすく表現している。
			立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。
			友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。
			予想を確かめるための実験を計画している。
			水を熱したり冷やしたりした実験の結果をもとに発表し合い、水の温度と状態変化の関係について多面的に考察している。
			考察から、水は温度によって、固体、液体、気体に姿を変えることを導き出している。
		学び	水の三態変化に関心をもって、積極的に実験しようとしている。
			水の三態変化と温度変化との関係について、根拠のある予想・仮説を立てて実験し、実験した結果から自分の考えをまとめている。
			水の三態変化の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。
水のゆくえ	6	知・技	水は地面や水面から蒸発し水蒸気となって空気中に含まれ、また、空気中の水蒸気は冷やされると結露して再び水になることを理解している。
			水の自然蒸発を調べる実験を適切に行い、その結果を正確に記録している。
			空気中の水蒸気の有無を調べる実験について、冬にガラス窓が結露しているようすを見た経験などから、根拠のある予想や仮説を立てている。
			立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。
			友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。
			予想を確かめるための実験を計画している。
		思・判・表	水の自然蒸発を調べる実験結果から、水は地面や水面などから蒸発して水蒸気となり、空気中に含まれていくことを導き出している。
			水の自然蒸発を調べる実験計画について、友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。
			水の自然蒸発を調べるとき、根拠のある予想・仮説を立て、実験結果から自分の考えをまとめている。
			水のゆくえの学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。
		学び	水の自然蒸発を調べる実験計画について、友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。
			水の自然蒸発を調べるとき、根拠のある予想・仮説を立て、実験結果から自分の考えをまとめている。
			水のゆくえの学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。
生き物の1年間	2	知・技	1年間の生物のようすを観察した結果から、季節ごとの生物のようすと気温の変化に関係があることを理解している。
			1年間の記録を、生物ごとにわかりやすく整理している。
			生物と気温との関係について、これまでの観察などの結果から、根拠のある予想や仮説を立てている。

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

		心・体・性	1年間の生物のようすを、季節を順に追って気温の変化と関係づけてまとめている。
		学び	1年間の生物のようすの学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

教科	理科	学年	5					
単元名		時数	単元のまとまりの評価規準					
花のつくり	2	知・技	めしべやおしべ、花びらやがくなどの花のつくりを理解している。 実の中に種子ができることを理解している。 アブラナの花を観察し、花のつくりを記録している。					
		思・判・表	アブラナの花が咲き終わった後、どこに実ができるのか根拠のある予想を立てている。					
		学び	身の回りの植物に関心を持ち、積極的に発言したり、観察しようとしている。 植物に関心をもって、大切にしようとしている。					
植物の発芽と成長	14	知・技	種子が発芽するためには水、適当な温度、空気が必要であることを理解している。 種子には、根・茎・葉になる部分と子葉という部分があることを理解している。 種子の子葉には発芽に必要な養分が含まれており、発芽にはその養分が使われていることを理解している。 植物の成長には、水、適当な温度、空気以外に、日光、肥料も必要なことを理解している。 条件制御しながら植物の発芽や成長に必要な条件を調べる実験を行い、その条件設定や結果をわかりやすく正確に記録している。					
		思・判・表	植物の発芽の条件について、今までに植物を育てた経験や学習したことなどから、根拠のある予想や仮説を立てている。 立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。 友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。 予想を確かめるための実験計画を立てている。 発芽前の種子と発芽後の子葉のヨウ素でんぷん反応の違いを関係づけて、植物は子葉に含まれている養分を使って発芽していることを導き出している。 植物の成長の条件について、条件制御して調べた結果をもとに発表し合い、植物の成長と日光や肥料とを関係づけて多面的に考察している。 考察から、植物の成長には、水、適当な温度、空気以外に、日光、肥料も関係していることを導き出している。					
			学び	種子の発芽に必要な条件について、根拠のある予想・仮説をもとに実験計画を立て、複数の実験結果を整理して自分の考えをまとめている。 植物の成長に必要な条件を調べる実験計画について、友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直して植物の発芽と成長の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。				
				知・技	メダカには雌と雄があり、雌雄の体のつくりの違いを理解している。 メダカの適切な飼育方法をよく調べ、理解している。 メダカを適切に飼育し、たまごが受精して孵化するまでの変化のようすを図や言葉でわかりやすくまとめてメダカは、たまごの中で徐々に変化して、親に似た姿になることを理解している。 メダカのたまごの中の変化のようすに着目して観察し、記録カードにわかりやすく正確に記録している。			
						メダカのたまごの中の変化のようすについて、今までの経験から、根拠のある予想や仮説を立てている。 立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。 友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。		

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

メダカのたんじょう	8	思・判・表	メダカのたまごの中の変化について、1, 2日おきに観察して調べた結果をもとに発表し合い、多面的に考察している。 孵化したばかりの子メダカが、しばらくは餌を食べなくても膨んだ腹の中の養分を使って育つことを、図でわかりやすく表現している。 考察から、メダカは受精後にたまごの中で徐々に変化して、親に似た姿になることを導き出している。
		学び	メダカの適切な飼育方法について、友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。 メダカのたまごの中の変化について観察したことを図に表すときに、大事なことや気づいたことなどをコメントとして入れるなどくふうしている。 メダカの誕生の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。 動物に関心をもって、大切にしようとしている。
ヒトのたんじょう	7	知・技	子宮、胎児、胎盤、へその緒などについて理解している。 ヒトは約38週間かけて母親の子宮の中で羊水に守られて育つことと、その成長の変化のようすを理解して胎児は、胎盤とへその緒を通して母親から成長に必要な養分などを受け取って成長していくことを理解して母体内での胎児の成長について、本やコンピュータなどを利用して、必要な情報を集めている。 子宮の中のようすを胎児の成長に必要な養分に着目して調べ、ノートに正確に記録している。 母体内での胎児の成長のようすを図やグラフ、言葉などでわかりやすくまとめている。
		思・判・表	母体内での胎児の成長のようすについて、これまでに学習したメダカの誕生の内容などから、根拠のある予想や仮説を立てている。 立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。 友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。 受精から誕生までの母体内での胎児の変化について調べた結果をもとに発表し合い、メダカのたまごの中での成長と比較して考察している。 考察から、ヒトもメダカと同様に、受精卵から徐々に成長していくことを導き出している。
		学び	ヒトの誕生について、今までの経験から根拠のある予想・仮説を立てて、自分の考えをまとめている。 ヒトの誕生の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。 ヒトの誕生に関心をもって、人の命を大切にしようとしている。
		知・技	台風が近づくと、雨量が多くなり、風が強くなることを理解している。 天気は台風の動きによって変わることを理解している。 気象情報の雨量に着目して調べ、わかりやすくまとめている。 台風の進み方や台風による災害および水不足解消の恵みなどについて理解している。 テレビやインターネット、新聞などを利用して、台風に関する必要な気象情報を集めている。
		思・判・表	台風が近づいてきたときの天気の様子について、今までの経験などから、根拠のある予想や仮説を立て立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。 友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。 予想を確かめるために、どのような気象情報を集めればよいか計画している。 台風の動きと天気の変化を関係づけてとらえ、調べた結果をもとに、図や言葉を使ってわかりやすく表現し

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

台風と気象情報	4		台風が近づいてきたことによる天気の変化について、インターネットなどで調べた結果をもとに発表し合い、台風の動きと天気の変化の関係について多面的に考察している。 考察から、台風は日本の南の海上で発生し、北へ向かって進むことが多いことを導き出している。
		学び	台風が近づいてきたときの天気の変化について、根拠のある予想・仮説を立てて情報を集め、集めた情報の内容から自分の考えをまとめている。 台風の動きと天気の変化との関係を調べる計画について、友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。 テレビやインターネット、新聞などを利用して気象情報を集め、わかりやすく台風の雲画像と雨量情報を並べるなどくふうしている。 台風と気象情報の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。
花から実へ	9	知・技	めばなにはめしべがあり、おばなにはおしべがあることを理解している。 実ができるためには、花粉がめしべの先につくことが必要であることを理解している。 ヘチマのめばなとおばなのつくりを観察して記録している。 顕微鏡を適切に取り扱い、花粉を観察している。 植物は、受粉するとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができることを理解している。 受粉後の花の変化を調べる実験を条件制御をしながら行い、その条件設定や結果をわかりやすく正確に記録している。
		思・判・表	植物の受粉のはたらきについて、今までに学習したことなどから、根拠のある予想や仮説を立てている。 立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。 友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。 予想を確かめるための実験計画を立てている。 条件制御をしながら結実に必要な条件を調べる実験を行い、結果をわかりやすく表現している。 植物の受粉の有無と結実するかどうかを関係づけて、植物は受粉するとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができることを導き出している。
		学び	植物の結実に必要な条件について、根拠のある予想・仮説をもとに実験計画を立て、受粉の有無と結実したかどうかを関係づけて整理し、自分の考えをまとめている。 受粉後の結実を調べる実験計画について、友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。 植物の受粉と結実の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。
		知・技	晴れと曇りの決め方や日本付近の天気の変化のきまりを理解している。 天気は、雲の量や動きに関係していることを理解している。 雲の量や色、形、動きに着目して観察し、記録カードにわかりやすく正確に記録している。 インターネット、新聞などを利用して気象情報を集め、わかりやすくまとめている。
		思・判・表	雲のようすと天気の変化との関係について、今までに経験した天気の変化のようすなどから、根拠のある予想や仮説を立てている。 立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。 友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

雲と天気の変化	8	心・判・表	インターネットなどを利用して集めた気象情報をもとに話し合い、雲の動きと天気の変化の関係について多面的に考察している。 考察から、日本付近の天気は、雲がおよそ西から東へ移動することに伴って、天気もおよそ西から東へと変化していくことを導き出している。
		学び	天気の変化のきまりについて、根拠のある予想・仮説を立てて情報を集め、集めた情報の内容から自分の考えをまとめている。 雲のようすと天気の変化との関係を調べる観察計画について、友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。 インターネット、新聞などを利用して気象情報を集め、わかりやすく雲画像を並べるなどくふうしている。 天気の変化の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。
流れる水のはたらき	12	知・技	流れる水には、土地を侵食したり、削った石や土を運搬したり堆積させたりするはたらきがあることを理解している。 流れる水の量とはたらきを調べる実験を、条件制御しながら適切に行っている。 曲がっている所の水の流れの速さや土の削られ方を観察し、正確に記録している。 山の中と平地、海の近くの石の大きさや形の違いをわかりやすくまとめている。 川の増水による災害を防ぐための様々なくふうを資料をもとに理解している。 本やコンピュータなどを利用して、川が流れる場所によって変化するようすのわかる資料を集めている。
		思・判・表	流れる水のはたらきについて、今までの経験などから、根拠のある予想を立てている。 立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。 友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。 流れる水のはたらきと土地の変化を関係づけてとらえ、調べた結果をもとに、図や言葉を使ってわかりやすく表現している。
		学び	流れる水のはたらきと土地の変化について、根拠のある予想・仮説を立てて情報を集め、集めた情報の内容から自分の考えをまとめている。 土で山をつくって、流れる水のはたらきを調べるときの実験計画について、友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。 流れる水のはたらきと土地の変化の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。
振り子のきまり	7	知・技	振り子が1往復する時間は、振り子の長さによって決まることを理解している。 振り子が1往復する時間は、おもりの重さや振れ幅によっては変化しないことを理解している。 調べたい条件以外の条件は、全て同じにすることを理解している。 振り子の長さ、おもりの重さ、振れ幅の条件に着目して実験し、表にわかりやすく整理して記録している。 条件制御を適切に行いながら、振り子が1往復する時間を変化させる条件を調べる実験を行い、その結果を正確に記録している。
		思・判・表	振り子が1往復する時間を変化させる条件について、実際に振り子を動かしたときに気づいたことなどから、根拠のある予想や仮説を立てている。 立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

科学の探究	1	心・判・表	友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。 予想を確かめるための実験を計画している。 振り子の実験結果から、振り子が1往復する時間は、振り子の長さによって決まることを導き出している。
		学び	振り子が1往復する時間と、振り子の長さ・おもりの重さ・振れ幅との関係を調べる実験計画について、友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。 振り子の1往復する時間のきまりについて、根拠のある予想・仮説をもとに実験計画を立て、実験結果から自分の考えをまとめている。 振り子の運動の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。
もののとけ方	16	知・技	(水の重さ)+(溶かした物の重さ)=(水溶液の重さ)であることを理解している。 物が水に溶ける量には限度があり、物が水に溶ける量と水の量や温度との関係について理解している。 物が水に溶ける量は水の量や温度によって違うことを利用して、溶けている物を取り出せることを理解して水の量や温度に着目して実験し、表やグラフにわかりやすく整理して記録している。 メスシリンダーやろ過器具などを、適切に取り扱って安全に実験を行っている。 条件制御を適切に行いながら、物が水に溶ける量を調べる実験を行い、その結果を正確に記録している。
		思・判・表	物が水に溶ける量と水の量や温度との関係について、今までに生活のなかで経験したことなどから、根拠のある予想や仮説を立てている。 立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。 友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。 予想を確かめるための実験を計画している。 食塩とミョウバンを使った実験結果から、物が水に溶ける量は、水の量や温度、溶ける物によって違うことを導き出している。
		学び	物の溶け方のきまりについて、根拠のある予想・仮説をもとに実験計画を立て、実験結果から自分の考えをまとめている。 物が水に溶ける量と水の量や温度との関係を調べる実験計画について、友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。 物の溶け方の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。
電流と電磁石	12	知・技	電流の向きが変わると電磁石の極も変わることを理解している。 電磁石の強さは、電流の大きさやコイルの巻き数によって変わることを理解している。 実験方法を考え、変える条件・変えない条件を明確にした実験を計画している。 調べたい条件以外の条件は、全て同じにすることを理解している。 条件制御を適切に行いながら、電磁石の力を強くする条件を調べる実験を行っている。 コイルに流れる電流の大きさやコイルの巻き数の条件に着目して実験し、表にわかりやすく整理して記録している。
			電磁石の力を強くする条件について、4年生で学んだ乾電池の数やつなぎ方によって電流の大きさが変わることを思い出して、根拠のある予想や仮説を立てている。 立てた予想を発表したり、文章にまとめたりしている。

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

電流と電磁石	10	思・判・表	友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。
			予想を確かめるための実験を計画している。
			電磁石の強さと電流の大きさやコイルの巻き数との関係を、言葉でわかりやすく表現している。
			電磁石の極を変える実験結果から、電流の向きが変わると電磁石の極も変わることを導き出している。
		学び	電磁石の強さと電流の大きさやコイルの巻き数との関係を調べる実験計画について、友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。
			電磁石の強さと電流の大きさやコイルの巻き数との関係について、根拠のある予想・仮説をもとに実験計画を立て、実験結果から自分の考えをまとめている。
			電磁石の性質の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

教科	理科	学年	6	
単元名		時数	単元のまとまりの評価規準	
ものが燃えるしくみ		9	知・技	瓶の中で物が燃え続けるには、空気が入れ替わる必要があることを理解している。
				空気にはおもに、窒素、酸素、二酸化炭素が含まれていることを理解している。
				酸素には物を燃やすはたらきがあることを理解している。
			思・判・表	気体検知管や石灰水を用いて、物の燃焼の前後の空気を比べる実験を適切に行っている。
				物が燃えると、空気中の酸素の一部が使われて、二酸化炭素ができることを理解している。
				物の燃焼の前後の空気の組成の比較実験の結果を、正確に記録している。
			学び	缶の上だけでなく、下にも穴をあけた方がよく燃えるのは、空気とどのような関係があるのか予想を立てて空気の出入りがある方が燃えたことから、空気の出入りと物の燃え方との関係について考察している。
				物が燃えた後、空気中の酸素が減って二酸化炭素が増えていたことから、燃焼の仕組みについて多面的に考察している。
				気体検知管や石灰水を使った実験結果を総合的にとらえて考察し、物が燃えると、空気中の酸素の一部が使われて、二酸化炭素ができることを導き出している。
ヒトや動物の体		10	知・技	燃焼の仕組みについて、根拠のある予想を立てて実験し、実験内容と結果を関係づけて自分の考えをまとめている。
				物が燃えるということに興味・関心をもち、物が燃える前後の空気の変化を進んで調べようとしている。
				燃焼の実験結果をもとに考察したことについて、自分の意見を図や言葉を使って人にわかりやすく伝えるくふうをしている。
			思・判・表	燃焼の仕組みの学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。
				食べ物、口、胃、腸などの消化管を通る間に消化・吸収され、吸収されなかった物は排出されることを理解している。
				ヒトは呼吸によって体内に酸素を取り入れ、体外に二酸化炭素を出していることを理解している。
				血液は、心臓のはたらきで体内を循環し、養分、酸素、二酸化炭素などを運んでいることを理解している。
			学び	体内には、生命活動を維持するための様々な臓器があることと、そのはたらきを理解している。
				唾液のはたらきや呼吸の仕組みを調べる実験を安全に行っている。
				唾液のはたらきや呼吸の仕組みを調べる実験の結果を、正確に記録している。
			思・判・表	ヒトや動物の体の構造や各器官のはたらきについて、本やコンピュータなどで必要な情報を集めている。
				燃焼の仕組みで学習したことから、呼吸のはたらきについて予想し、実験の計画を立てている。
				血液のはたらきを、消化や呼吸などのはたらきから総合的に考えて予想している。
			学び	立てた予想を発表している。
				友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。
				実験結果や本やコンピュータなどで調べたことをもとに考察し、ヒトやほかの動物は様々な臓器が関わり合いながら生命を維持していることを導き出している。
			学び	ヒトや動物の体の構造やはたらきに興味・関心をもち、本やコンピュータなどを活用しながら調べている。
				唾液のはたらきを調べる実験結果をもとに考察したことについて、自分の意見を人にわかりやすく伝えるくふうをしている。

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

		すい	呼吸のはたらきを調べる実験計画について、友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。 ヒトや動物の体のつくりやはたらきの学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。
植物のつくりとはたらき	8	知・技	植物の水の通り道を理解している。 根から取り入れられた水は、葉から蒸散していることを理解している。 植物の蒸散実験を条件制御しながら適切に行い、結果を正確に記録している。 植物も動物と同じように呼吸をして、酸素を取り入れ二酸化炭素を出すことを理解している。 日光が当たると、植物は二酸化炭素を取り入れ酸素を出していることを理解している。 気体検知管を用いて、植物が出し入れする気体が何かを適切に調べている。 でんぷんができるためには、葉に日光が当たることが必要であることを理解している。 葉ででんぷんができるために必要な条件を調べた実験結果を、正確に記録している。
			5年生の植物の発芽の学習をもとに、植物の成長にでんぷんが必要かどうかについて根拠のある予想を立てている。 立てた予想を発表したり、文章にまとめている。 友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。 予想を確かめるための実験を計画している。
			植物の蒸散実験の結果をもとに、葉まで行き渡った水のゆくえについて考え、わかりやすく表現している。
		学び	植物の水の通り道を調べる実験計画について、友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。 植物と空気との関わりについて、根拠のある予想・仮説を立てて実験し、実験内容と結果を関係付けて自分の考えをまとめている。 植物の成長と日光の実験結果をもとに考察したことについて、自分の意見を人にわかりやすく伝えるくふうをしている。 植物のつくりとはたらきの学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。 植物に関心をもって、大切にしようとしている。
			生物は、「食べる・食べられる」という関係でつながっていることを理解している。 動物の食べ物のもとをたどると、自分で養分をつくる生物に行きつくことを理解している。 生物どうしの「食べる・食べられる」という一連の関係を食物連鎖ということを理解している。 顕微鏡を正しく使い、水中の小さな生物を観察している。 生物は、水や空気を通して関わり合って生きていることを理解している。 本やコンピュータなどを活用し、必要な情報を集めている。
			今までに学習したことをもとに、生物が食べ物や空気、水を通してどのように関わり合っているのかということや、水と生物の関係について、根拠のある予想を立てている。 立てた予想を発表したり、文章にまとめている。 友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。 生物の食べ物を通した関わり合いについて、様々な動物の食べ物を調べた結果をもとに発表し合い、多面的に考察している。 考察から、生物と食べ物、空気、水との関わりを総合的に導き出してまとめている。
生物どうしのつながり	7	知・技	生物は、「食べる・食べられる」という関係でつながっていることを理解している。 動物の食べ物のもとをたどると、自分で養分をつくる生物に行きつくことを理解している。 生物どうしの「食べる・食べられる」という一連の関係を食物連鎖ということを理解している。 顕微鏡を正しく使い、水中の小さな生物を観察している。 生物は、水や空気を通して関わり合って生きていることを理解している。 本やコンピュータなどを活用し、必要な情報を集めている。
			今までに学習したことをもとに、生物が食べ物や空気、水を通してどのように関わり合っているのかということや、水と生物の関係について、根拠のある予想を立てている。 立てた予想を発表したり、文章にまとめている。 友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。 生物の食べ物を通した関わり合いについて、様々な動物の食べ物を調べた結果をもとに発表し合い、多面的に考察している。 考察から、生物と食べ物、空気、水との関わりを総合的に導き出してまとめている。
		思・判・表	今までに学習したことをもとに、生物が食べ物や空気、水を通してどのように関わり合っているのかということや、水と生物の関係について、根拠のある予想を立てている。 立てた予想を発表したり、文章にまとめている。 友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。 生物の食べ物を通した関わり合いについて、様々な動物の食べ物を調べた結果をもとに発表し合い、多面的に考察している。 考察から、生物と食べ物、空気、水との関わりを総合的に導き出してまとめている。

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

		学び	生物と食べ物の関わりについて粘り強く追究し，食物連鎖について考察している。 生物と空気との関わりを調べて考察したことを，人にわかりやすく伝えるくふうをしている。 生物と環境との関わりの学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。 生物に関心をもって，大切にしようとしている。
水よう液の性質	14	知・技	水溶液には，気体が溶けているものと固体が溶けているものがあることを理解している。 水溶液は，その性質によって酸性・アルカリ性・中性に分けられることを理解している。 水溶液には，金属を変化させるものがあることを理解している。 リトマス紙を使って水溶液の性質を調べ，その結果を記録している。 水溶液を扱う際の注意事項を知り，正しく取り扱っている。 水溶液を扱う実験を安全に行い，その結果を正確に記録している。
			友だちの意見を聞いて，自分の予想の妥当性について考えている。 リトマス紙を使って水溶液の性質を調べ，赤色と青色のリトマス紙のそれぞれの色の変化を表にわかりやすくまとめている。 金属が溶けた水溶液を加熱して得られるものの性質から，金属が水溶液によって質的に変化していることを関係づけてわかりやすく表現している。
		思・判・表	5種類の水溶液は，どうすれば区別することができるのか，根拠のある予想を立てて実験の計画を立てて水溶液の性質を調べる実験計画について，友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。 水溶液の性質を調べる実験結果をもとに考察したことについて，自分の意見を人にわかりやすく伝えるくふうをしている。 水溶液の性質の学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。
		学び	5種類の水溶液は，どうすれば区別することができるのか，根拠のある予想を立てて実験の計画を立てて水溶液の性質を調べる実験計画について，友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。 水溶液の性質を調べる実験結果をもとに考察したことについて，自分の意見を人にわかりやすく伝えるくふうをしている。 水溶液の性質の学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。
			水溶液の性質の学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。
			水溶液の性質の学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。
			水溶液の性質の学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。
			水溶液の性質の学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。
			水溶液の性質の学習で，わかったこととまだわからないこと，できるようになったこととまだできないことが何かを，自分で考えている。
月と太陽	6	知・技	月は太陽の光を受けて輝いていることを理解している。 月の形の見え方が日によって変化するのは，月と太陽の位置が関係していることを理解している。 月と太陽の位置について調べる観察を安全に行い，観察結果を正確に記録している。 月の形の見え方と太陽の位置との関係を調べる実験を適切に行い，結果を正確に記録している。
			友だちの意見を聞いて，自分の予想の妥当性について考えている。 予想を確かめるための実験を計画している。 月と太陽の位置について調べた観察結果をもとに，図に描いて正確にわかりやすく表現している。 月の形が変化することを，月と太陽の位置関係が変化することと関係づけてとらえ，月の形が変化して見える理由を，図や言葉でわかりやすく表現している。
		思・判・表	友だちの意見を聞いて，自分の予想の妥当性について考えている。 予想を確かめるための実験を計画している。 月と太陽の位置について調べた観察結果をもとに，図に描いて正確にわかりやすく表現している。 月の形が変化することを，月と太陽の位置関係が変化することと関係づけてとらえ，月の形が変化して見える理由を，図や言葉でわかりやすく表現している。
			月と太陽の位置について調べた観察結果をもとに，図に描いて正確にわかりやすく表現している。 月の形が変化することを，月と太陽の位置関係が変化することと関係づけてとらえ，月の形が変化して見える理由を，図や言葉でわかりやすく表現している。
		学び	月の形の見え方が日によって変化する理由について，根拠のある予想・計画を立てて実験し，実験内容と結果とを関係づけて自分の考えをまとめている。 月の形の見え方と太陽の位置との関係を調べる実験計画について，友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。 月の形の見え方と太陽の位置との関係を調べる実験結果をもとに考察したことについて，自分の意見を人にわかりやすく伝えるくふうをしている。
			月の形の見え方が日によって変化する理由について，根拠のある予想・計画を立てて実験し，実験内容と結果とを関係づけて自分の考えをまとめている。 月の形の見え方と太陽の位置との関係を調べる実験計画について，友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。 月の形の見え方と太陽の位置との関係を調べる実験結果をもとに考察したことについて，自分の意見を人にわかりやすく伝えるくふうをしている。
			月の形の見え方が日によって変化する理由について，根拠のある予想・計画を立てて実験し，実験内容と結果とを関係づけて自分の考えをまとめている。 月の形の見え方と太陽の位置との関係を調べる実験計画について，友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。 月の形の見え方と太陽の位置との関係を調べる実験結果をもとに考察したことについて，自分の意見を人にわかりやすく伝えるくふうをしている。
			月の形の見え方が日によって変化する理由について，根拠のある予想・計画を立てて実験し，実験内容と結果とを関係づけて自分の考えをまとめている。 月の形の見え方と太陽の位置との関係を調べる実験計画について，友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。 月の形の見え方と太陽の位置との関係を調べる実験結果をもとに考察したことについて，自分の意見を人にわかりやすく伝えるくふうをしている。
			月の形の見え方が日によって変化する理由について，根拠のある予想・計画を立てて実験し，実験内容と結果とを関係づけて自分の考えをまとめている。 月の形の見え方と太陽の位置との関係を調べる実験計画について，友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。 月の形の見え方と太陽の位置との関係を調べる実験結果をもとに考察したことについて，自分の意見を人にわかりやすく伝えるくふうをしている。
			月の形の見え方が日によって変化する理由について，根拠のある予想・計画を立てて実験し，実験内容と結果とを関係づけて自分の考えをまとめている。 月の形の見え方と太陽の位置との関係を調べる実験計画について，友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。 月の形の見え方と太陽の位置との関係を調べる実験結果をもとに考察したことについて，自分の意見を人にわかりやすく伝えるくふうをしている。

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

			月と太陽の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。
大地のつくりと変化	16	知・技	大地は、礫、砂、泥、火山灰などからできていることを理解している。
			地層は、流れる水のはたらきによって運搬された礫や、砂、泥などが、海底などに層になって積み重なり、それが繰り返されることによってできることを理解している。
			地層から見つかる動物や植物の一部、動物のすみか、足あとなどを化石ということを理解している。
			地層のようすを安全に観察したり、層に含まれている礫や砂などを採取して調べ、その結果をわかりやすく記録している。
			博物館や科学館、本やコンピュータなどを活用して必要な情報を集め、その結果をわかりやすくまとめている。
			火山活動や地震によって大地が変化することを理解している。
		思・判・表	友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。
			層の構成物からその地層のでき方を予想し、わかりやすくまとめて表現している。
			博物館や本やコンピュータなどで調べたことから、火山活動や地震と大地が変化することを関係づけてわかりやすく表現している。
		学び	地層のでき方について、根拠のある予想・仮説を立てて実験し、実験内容と結果とを関係づけて自分の考えをまとめている。
			地層のでき方を調べる実験計画について、友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。
			地層のでき方を調べる実験結果をもとに考察したことについて、自分の意見を人にわかりやすく伝えるくふうをしている。
			大地のつくりと変化の学習で、火山活動や地震によって大地が変化することを知り、防災や減災対策で自分たちにできることを考え、取り組もうとしている。
てこのはたらき	10	知・技	てこには、3つの点(支点・力点・作用点)があることを理解している。
			てこの仕組みを理解している。
			てこを利用して物を持ち上げるときの力は、支点から力点や作用点までの位置が関係していることを理解している。
			てこの腕を傾けるはたらきは、おもりの重さ(力の大きさ)×支点からの距離で表せることを理解している。
			棒の傾いている方が大きな力がはたらいていることと、棒が水平になったときは左右の力の大きさが同じになっていることを理解している。
			てこを扱う実験を安全に行っている。
		思・判・表	てこの規則性を調べる実験の結果を、正確に記録している。
			支点から力点や作用点までの距離を変えたときの手応えの変化をもとに、てこの規則性について根拠のある予想を立てている。
			立てた予想を発表したり、文章にまとめている。
			友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。
			予想を確かめるための実験を計画している。
			てこの3つの点の距離を変えたときの手応えの違いについて、結果をもとに発表し合い、3つの点の位置と手応えとの関係について多面的に考察している。

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

			考察から、棒を傾けるはたらきの大きさは、「力点にかかるおもりの重さ」と「支点からの距離」の積になることを導き出している。
		学び	てこの規則性について、根拠のある予想・仮説を立てて実験し、実験内容と結果とを関係づけて自分の考えをまとめている。 てこの実験計画について、友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。 てこの実験結果をもとに考察したことについて、自分の意見を人にわかりやすく伝えるくふうをしている。 てこのはたらきの学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。
発電と電気の利用	14	知・技	電気は、つくったり蓄えたりすることができ、光、音、熱、運動など様々な形に変えて利用できることを理解している。 身の回りには、電気を光、音、熱、運動などに変えて利用している道具がたくさんあることを理解している。 手回し発電機やコンデンサー、光電池などを、安全に正しく取り扱っている。 手回し発電機やコンデンサーを適切に使って実験を行い、その結果を正確に記録している。
		思・判・表	友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。 豆電球と発光ダイオードの明かりのついている時間を電気の使用量に関係づけて考え、豆電球よりも発光ダイオードの方が使用する電気の量が少ないことを説明している。 プログラミングの学習で、エネルギーを効率よく使用するためのプログラムを考えている。
		学び	発電・蓄電について調べる実験結果をもとに考察したことについて、自分の意見を人にわかりやすく伝えるくふうをしている。 エネルギーの変換を調べる実験計画について、友だちとの話し合いを通して自らの考えを見直している。 豆電球と発光ダイオードの点灯時間について、根拠のある予想・仮説を立てて実験し、実験内容と結果とを関係づけて自分の考えをまとめている。 プログラムが計画通りに動かなかったとき、計画を見直して粘り強くプログラムを完成させている。 電気の利用の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。
自然とともに生きる	5	知・技	生物は、水や空気を通して環境と関わり合って生きていることを理解している。 生物は、食べる・食べられるという関係でつながっていることを理解している。 生物が互いに関わり合って生きていることと、ヒトも環境の一部であることを理解している。 ヒトが環境に与えている影響について理解している。 これまでに学習した内容や新たに集めた情報をもとにして、ヒトと環境とのつながりを多面的にまとめている。 ヒトが環境に与える影響を多面的に考え、どのように地球環境と関わっていけばよいのかを調べている。 本やコンピュータなどを活用して、環境問題などについての必要な情報を集めている。
		思・判・表	既習内容などをもとに、ヒトと環境との関わりについて多面的にとらえ、その関わりをわかりやすくまとめて友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。 ヒトがどのように地球環境と関わっていけばよいのかを多面的に考え、わかりやすく発表している。 ヒトと環境との関わりについて、根拠のある予想・仮説を立てて調べ、自分の考えをまとめている。 ヒトと環境との関わりについて予想したことを、友だちとの話し合いを通して見直している。

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎第二小学校

		学び	これから私たちがどのように地球環境と関わっていけばよいのか考察し、自分の意見を人にわかりやすく伝えるくふうをしている。 生物と環境の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。
--	--	----	---